

## 製品名: FGFR4 (11K9) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe10949

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	88kDa

### 抗原情報

遺伝子名	FGFR4
別名	Fibroblast growth factor receptor 4; FGFR-4; CD334; FGFR4; JTK2; TKF;
遺伝子 ID	2264.0
SwissProt ID	P22455
免疫原	ヒト FGFR4 の合成ペプチド

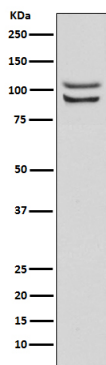
### 背景

酸性線維芽細胞増殖因子の受容体。塩基性線維芽細胞増殖因子には結合しない。FGF19に結合する。線維芽細胞増殖因子の細胞表面受容体として機能するチロシンタンパク質キナーゼは、細胞増殖、分化、遊走の調節、脂質代謝、胆汁酸合成、グルコース取り込み、ビタミンD代謝、リン酸恒常性の調節に関与する。胆汁酸合成の律速酵素であるCYP7A1の発現をFGF19に応答して正常にダウンレギュレーションするために必要である。PLCG1およびFRS2をリン酸化。リガンド結合は、いくつかのシグナル伝達カスケードの活性化につながる。PLCG1の活性化は、細胞シグナル伝達分子であるジアシルグリセロールおよびイノシトール1,4,5-トリスリン酸の生成につながる。FRS2のリン酸化は、GRB2、GAB1、PIK3R1、SOS1のリクルートを誘導し、RAS、MAPK1/ERK2、MAPK3/ERK1、MAPキナーゼシグナル伝達経路、およびAKT1シグナル伝達経路の活性化を媒介します。SRC依存性のマトリックスペロテアーゼMMP14のリン酸化とリソソーム分解を促進します。FGFR4シグナル伝達は受容体の内在化と分解によってダウンレギュレーションされますが、MMP14はFGFR4の内在化と分解を促進します。キナーゼの恒常的活性化につながる変異、または正常なFGFR4不活性化を阻害する変異は、異常なシグナル伝達を引き起こします。

## 研究分野

心血管系

## 画像データ



Raji 細胞溶解物中の FGFR4 発現のウェスタン プロット分析。